

# 医療からほど遠い在留外国人の側に立つ

## 誰一人置き去りにしないために

- ① 在留資格のない外国人が置かれている生活実態に対する  
共通理解及び情報共有の乏しさ
- ② 医療支援のためのファンドレイジングについての必要性

### 計画

## 仮放免者の生活実態調査

### 目的

- ・本調査の目的は、データで仮放免者の生活実態を示すこと。

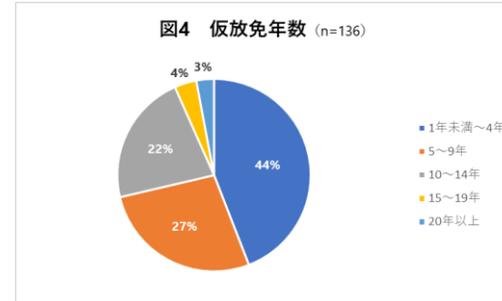
表1 調査方法の概要

調査地域	全国
調査期間	2021年10月～12月
調査対象者	調査期間中に仮放免状態である者
調査方法	郵送配布-郵送回収（日本語・英語・フランス語・スペイン語対応）、匿名調査
調査対象者の選定方法	北関東医療相談会・その他外国人支援団体や支援者・仮放免当事者から紹介
配布数・回収率	450件・31.3%（141件）

# 仮放免者の生活実態調査

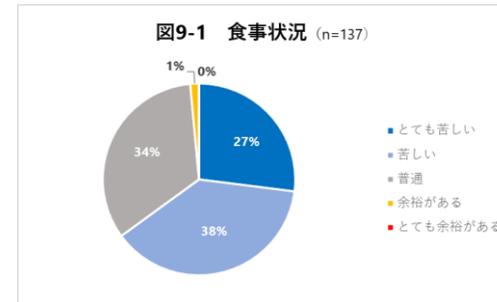
## ▶ ①日本に長く暮らし、働ける年齢層の仮放免者

人に物乞いをしに回るのが非常に辛い。教会やアフリカの友人がずっと私を援助してくれていたが、友人らは私がいつもお願いに行くのにうんざりしており、それでイライラしてしまう。この状況で何とかやっつけていこうとするのはストレスがたまり、自殺したくなる。(50代女性)



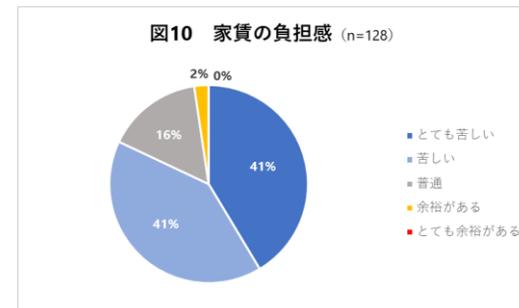
## ▶ ②食料の確保が困難な仮放免者

・生活大変。法律のルールで仕事できない。なので、収入がない。食事不足。病気の時もお金ない。そろそろ冬になる。お金ないから暖かい服買えない。それが怖い。(20代男性)



## ▶ ③住居の維持・確保が困難な仮放免者

・今、私の状況は大変危険です。お金もなく、生活のための沢山の借金があります。家主は家賃のことで5回も私を脅し、家賃を払わないと殺すと言ってカバンを外に放ったり私の体を押し倒したりしました。その時、私は大けがをして、救急車で病院に行きました。(40代男性)、

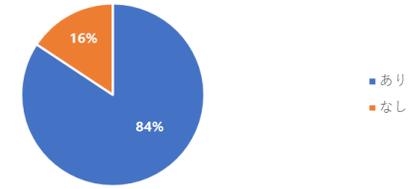


#### ▶ ④医療を受けられない仮放免者

私は妊娠6ヶ月。頭痛い。お金ない。

帝王切開のお金大変。保険ない。 (30代女性)

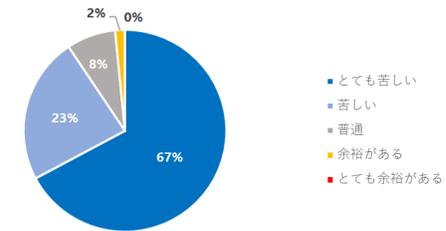
図15-1 経済的問題により医療機関を受診できないことの有無 (n=134)



#### ⑤社会生活を営むことが困難な仮放免者・教育を受けることが困難な子ども

・母に病院に連れて行ってもらう必要がある。両親が私の世話を良くできるようになってほしい。私の学校での必要や、宿題を助けてくれる先生や、スポーツ活動などのお金があれば私の学校の成績も改善できるのに。母に学校の勉強を手伝ってもらうのはとても難しいんです。母は日本人ではないからです。(10代男性)

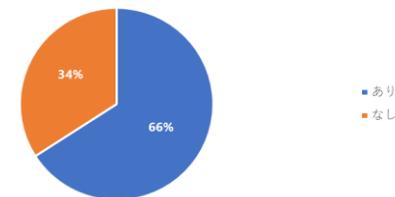
図19 子どもの教育費の負担感 (n=64)



#### ⑥収入を確保することが困難な仮放免者・コロナ禍によるさらなる生活困窮

お金は借りることはできない。なぜなら返すことができないから。かつては友人に助けを求めまわったし、日本には住んでいない友人や兄弟姉妹にも頼んだが難しい。(40代女性)

図23-1 借金の有無 (n=132)



【本調査の目的】本調査の目的は、データで仮放免の生活実態を示すこと。日本で初めて仮放免の生活実態調査を行い、データに基づいて仮放免の生活実態を明らかにした。

# 1

調査結果

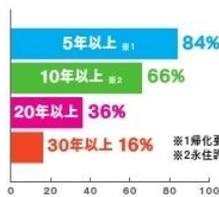
## 日本に長く暮らし、働ける年齢層の仮放免者

調査回答者本人のこと



87%が20～50代の働ける年齢層 (調査対象:10代～70代)

滞在年数 (図3-2) 10P



他の調査と比較して滞在年数の長い者が多い。

世帯人数 (図6) 12P



このうち24%が有子世帯

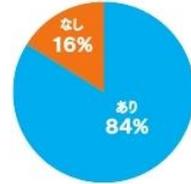
# 4

調査結果

## 医療を受けられない仮放免者

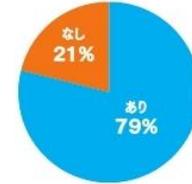
医療のこと

経済的問題により医療機関を受診できないことの有無 (図15-1) 22P



「あり」と回答した者は厚労省調査/ 国立社会保障・人口問題研究所調査の4.2～105倍。

経済的余裕があれば治療したい病気や怪我の有無 (図16) 24P



79%が経済的余裕があれば治療したい病気やケガがあると回答。

# 2

調査結果

## 食料の確保が困難な仮放免者

生活・食事の状況



「とても苦しい」「苦しい」厚労省調査の2.1倍

食事状況 (図9-1) 15P



「とても苦しい」「苦しい」厚労省調査の6.1倍

1日の食事回数 (図9-2) 15P



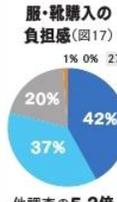
食事回数が「1日1回」厚労省調査の8倍

# 5

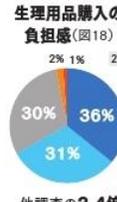
調査結果

## 社会生活を営むことが困難な仮放免者・教育を受けることが困難な子ども

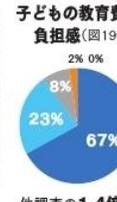
その他生活のこと



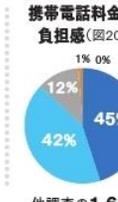
他調査の5.3倍



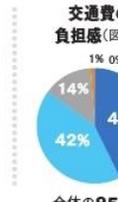
他調査の3.4倍



他調査の1.4倍



他調査の1.6倍



全体の85%

# 3

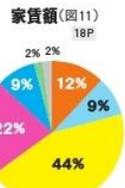
調査結果

## 住居の維持・確保が困難な仮放免者

住居のこと



「とても苦しい」「苦しい」国交省調査の1.5倍



低家賃で暮らしている者が多く、家賃滞納者は日本賃貸住宅管理協会調査の19倍



国立社会保障・人口問題研究所調査の10.3～11.3倍

# 6

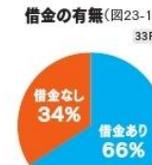
調査結果

## 収入を確保することが困難な仮放免者・コロナ禍によるさらなる生活困窮

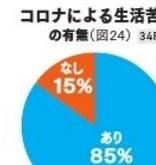
所得・借金のこと、コロナのこと



年収0円が70% 90万円以下が86%



「借金がある」が国民生活基礎調査の2.3倍



「コロナの影響で生活が苦しくなった」が85%